

「美術Ⅰ」シラバス

教科	科目	学年	組	単位数	教科書（出版社）
芸術	美術	1	美術選択クラス (4クラス)	2	美術1 (光村図書出版株式会社)

【美術Ⅰの目標】

美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

【実施計画と学習内容】

学期	領域・分野	題材名	指導目標	主な学習活動	評価
一学期	表現(絵画・デザイン)	ポスター作成	・深夜はいかい防止ポスター、子供・女性の犯罪被害防止、沖縄の観光絵画、沖縄の文化財、明るい選挙啓発ポスターなど様々なテーマから、生徒が選択し、テーマの目的に合致したポスターを完成させることができる。	・テーマの中から自分のやりたいものを探し、インターネットなどを使ってテーマについて調べる。 ・ポスターのテーマやねらいに沿ったアイデアをねり、教師のアドバイスも受けながら完成させる。	・発想、アイデア ・形体、色彩、構成の工夫 ・準備と片付け
	鑑賞	世界のポスター	・デザインの歴史をひもときながら、ポスター作品を鑑賞し、表現方法を工夫し、目的や計画を基に表現することについて考えを深める。	・ポスターの特性について理解する。 ・目的や意図に応じて表現方法を工夫することについて鑑賞しながら言葉にして考える。	・ワークシート
	鑑賞	陶芸・デッサン	・陶芸作品やデッサンの作例などから、今後の作品製作について意欲を高める。	・知高祭で展示する作品制作にすむため、陶芸・デッサン・油絵から自分のやりたい分野を選ぶため、様々な作例をみながら考え、選択する。	・ワークシート
	表現(工芸・デッサン・絵画・デザイン)	①陶芸 ②デッサン ③油絵 から選択	・陶芸:用途にあった形を考えながら制作することができる。 ・デッサン:光源や物体の形を観察し、量感をつかみながら鉛筆で表現することができる。 ・油絵:表現形式の特性を生かし、形体、色彩、構成などを工夫して創造的な表現の構想を練ることができる。	・陶芸:観葉植物を植えるための植木鉢を陶芸でつくる。観葉植物を植えたときのように見えるのが理想的か考えながら制作する。 ・デッサン:光源や物体の形をよく観察し、量感をつかみながら鉛筆で表現する。 ・油絵:油絵の具の特性を楽しみながら、夢や想像などから主題を生成し、作品を仕上げる。	・アイディアスケッチ、作品、ワークシート
	鑑賞	芸術家の人生	・日曜美術館などの番組を鑑賞し、作家の人生から、自らがよりよく生きるためのヒントを探り、また作品鑑賞の楽しみを発見することができる。	・DVDを鑑賞し、ワークシートに考えをまとめる。また、感想について友達を話す。	・ワークシート
二学期	展示準備	知高祭展示準備	・保護者、地域の方々に日頃の授業の成果をみていただけるように、生徒作品を展示する。キャプションなど工夫して見やすくする。	・展示する部屋の清掃や準備を行う。作品の展示方法を考え、キャプションにコンセプトなども記入して展示する。	・展示作品

	鑑賞(西洋美術)	古代ギリシア美術、ローマ美術、ルネサンス	・西洋美術のルーツである古代ギリシア美術をはじめ、ルネサンス以前の美術の作品を鑑賞するほか、美術史を勉強することで、ルネサンスからの展開を楽しめるようにする。ルネサンスでは三大巨匠について学ぶ。	・大理石の彫刻や、土偶、教会美術・教会建築の作品、年表などを見ながらスライドやワークシートで学習をすすめる。またキリスト教の文化についても触れ、西洋美術への理解を深める助けとする。	・テスト
	座学(色彩)	色彩	・色彩について学ぶことで、美術やデザインについて制作及び鑑賞の理解を深める。 また、日常生活でもあらゆる分野で色彩設計が考えられていることを知り、デザインへの関心を高める。	・色立体や表色系についてスライドやワークシートで学び、色のなりたちや要素について考える。色のグラデーションをつくる実習なども行う。	・テスト ・課題
	鑑賞(西洋美術)	バロック美術、写実主義、印象派、フォービズム、キュビズム	・西洋美術史の主な流れを学習しながら、著名な作家や作品を知り、時代背景や美術様式の知識を身につけることで、美術に親しむ心を育てる。作品について自分の感想を持つことで、生徒が自信をもって美術作品に触れたり考えたりできるようにする。	・バロック、写実主義、印象派、フォービズム、キュビズムなどについて特徴や作家について学習し、それぞれの時代背景や作家の人生から、作品を理解することができる。 ・西洋美術の美術作品について自分の考えを持ち、好きな作品が言えるようにする。	・テスト
三学期	表現(木版画)	木版画	・木を彫り、インクで刷って表現する面白さに触れ、鉛筆や絵の具以外での平面作品制作について考える。身近な題材から発想して、飾っておきたい・人にあげたい作品の完成を目指す。	・身近な題材からアイデアスケッチを行い、A4の版木に、版画作品を彫る。 ・和紙に、赤・紺・黒などのインクで印刷し、裏面から着色を施す。どこに飾りたいか、あるいは誰にあげたいか考えながら制作する。	・作品
	表現(立体)	レジンでつくるアクセサリ、陶芸小物制作	・立体的な作品制作を行う。完成イメージから遡って、工程を考えたり、丁寧に仕上げる作業を通して、計画性や想定して準備する力を養う。	・レジンの過去作品や、動画、写真などから自分の作りたい作品のイメージを膨らませ、どのような手順で作成すると成功するか考える。完成後も飾ったり使ったりできる作品をつくる。	・作品
	鑑賞(映像)	ヤンシュヴァークマイエル、チェコアニメ、テクネ	・映像表現における様々な手法(コマ撮り、時間操作、マルチスクリーン、ワンカット)について学び、映像表現について考える。前衛絵的な映像表現とエンターテインメントとしての映像の違いについて考える。	・テクネなどの最近の映像作品から、過去の著名なアニメ作家の映像、ジャパニメーションと言われる映像などを鑑賞し、それぞれの特徴や作り方について学ぶ。アートとエンターテインメントの違いについて考察する。	・ワークシート

★題材や教材、学習内容は、生徒の実態や状況に応じて、柔軟に変更する。

【学習形態】

基本的に一斉授業ですが、学習内容によってグループに分かれて課題研究スタイルでの学習を行う。
テストについては、2学期期末に西洋美術史・色彩についての学習のまとめとして行う。

【評価方法】

①授業への関心・意欲・態度、②ワークシート等の課題提出状況、③グループ活動への取り組み、④テストの結果を総合的に判断して評価する。